

平成24年度 第8回経営協議会議事録

日 時 平成25年3月25日（月）15時00分～17時10分
場 所 ホテルセンチュリー静岡 4階クリスタルルーム
出席者 石川、石村、伊藤、北原、杉田、晝馬
伊東、石井、碓氷、柳澤、山崎、浅利、船橋、杉山の各委員
欠席者 川勝、松井の各委員
陪席者 大戸、徳山の各監事
中村、佐藤、村井の各学長補佐

I 前回議事録の承認について

平成24年度第7回経営協議会議事録（案）を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 国立大学法人静岡大学学則の一部改正について

議長から、平成25年度の本学の組織整備（工学部の改組、新研究所の設置、理工系教員の修士課程所属への変更等）に伴う、国立大学法人静岡大学学則の一部改正について、資料1により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。（意見交換で出された主な意見等）

〔⊕：学外委員の意見等、△：本学側の意見・説明等〕

⊕：グリーン科学技術研究所の概念は。

△：エネルギー、バイオ、化学の環境科学・工学を静岡・浜松地区で融合させることが本学の強みを伸ばすこととなる。

⊕：工学部の改組について、積極的な広報活動が望まれる。

2 静岡大学大学院規則の一部改正について

議長から、工学研究科の改組及び理工系教員の修士課程所属への変更に伴う、静岡大学大学院規則の一部改正について、資料2により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

（意見交換で出された主な意見等）

〔⊕：学外委員の意見等 △：本学側の意見・説明等〕

⊕：理工系教員を修士課程所属とした理由は。

△：教育プログラムと教員組織の在り方を考えなければいけない時期にあり、特に理工系については大学院修士課程の教育を更に充実させていくべきであるとの方針によるものである。

3 国立大学法人静岡大学教職員就業規則等の一部改正について

山崎委員から、教職員の試用期間の延長、夏季特別休暇の分割取得及び特任事務職員等の拡充等に伴う、国立大学法人静岡大学教職員就業規則等の一部改正について、資料3により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

4 国立大学法人静岡大学役員の報酬の臨時特例に関する規程の一部改正について

山崎委員から、東日本大震災の復興に貢献するための特例期間の延長に伴う、国立大学法人静岡大学役員の報酬の臨時特例に関する規程の一部改正について、資料4により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

5 平成25年度「年度計画」について

浅利委員から、平成25年度「年度計画」の重点課題等について、資料5により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

(意見交換で出された主な意見等)

〔⊕：学外委員の意見等 △：本学側の意見・説明等〕

⊕：学部専門教育は、1年次生には難しいのではないかと。幅広い教育を行い、進路を考える環境を与えるべきではないかと。

△：「自由科目」の25年度カリキュラムにおいては、教養科目と専門科目の履修について選択の枠を与えている。「自由科目」を設けた大きな理由として、特に外国語を強化したい学生に、より多くの外国語科目が履修可能となる措置としたことである。

また、今後、大きく入り試が実施できる制度を確立していきたいと考えている。

⊕：東日本大震災の影響による留学生の動向はいかがかと。

△：震災発生後一時的には、30人から40人程度減少したが、半年後に、ほぼ同数に戻っていることから、影響はないと考えている。ただし、本学の留学生が20～30人ほど23年度から減少している。原因は解明されていないが、県内の高等教育機関においても同様の状況である。

6 平成25年度予算配分について

山崎委員から、「ファイナンシャルプラン2011 第二期計画期間中の財務運営ー平成24年度以降の財務運営についてー」を基本とした配分方針による、平成25年度予算配分について、資料6により説明があり、審議の結果原案どおり承認した。

(意見交換で出された主な意見等)

〔⊕：学外委員の意見等 △：本学側の意見・説明等〕

⊕：24年度学長裁量経費において採択される件数及び平均額は。

△：26件、平均450万円程度である。なお、学長裁量経費は、要求内容を精査し、必要額を配分している。

⊕：学長裁量経費は、学長のトップダウンにより配分するものなのか、または、学部等からのボトムアップによるものであるのか。

△：トップダウン、ボトムアップの両方の要因により配分されている。

平成25年度については、できる限り、本学の戦略によりトップダウンで配分していきたいと考えている。

Ⅲ 報告事項

1 平成24年度予備費及び補正予算について

山崎委員から、平成24年度一般会計経済危機対応・地域活性化予備費及び一般会計補正予算による、本学への措置について、資料7により報告があった。

2 地域資源等を活用した産学連携による国際科学イノベーション拠点整備事業について〔(仮称)はままつ光研究拠点〕

議長から、浜松ホトニクス(株)、光産業創成大学院大学、浜松医科大学及び本学による標記拠点整備事業(平成24年度補正予算)について、資料8により報告があった。

なお、本事業の採択にあわせ、平成25年度センター・オブ・イノベーション(COI)事業も採択される事が重要である旨の発言があった。

また、晝馬委員から、4機関において協力のうえ、事業を成功させたい旨の発言があった。

3 平成25年度国際交流基金事業の基本方針及び事業資金について

村井委員から、平成25年度国際交流基金事業の基本方針及び事業資金について、資料9により報告があった。

4 平成23年度監事業務監査改善要望事項に対する改善措置状況について

議長から、役員会が基本方針を策定し、改善の取組みを行った平成23年度監事業務監査改善要望事項に対する改善措置状況について、資料10により報告があった。

5 平成24年度監事業務監査実施計画の報告について

大戸監事から、平成24年度監事業務監査実施計画について、資料11により報告があった。

6 浜松艇庫敷地譲渡に伴う移転予定地の見直しについて

山崎委員から、地域住民等からの要望を受けた、浜松艇庫敷地譲渡に伴う移転予定地の見直しについて、資料12により報告があった。

なお、同委員から県から佐鳴湖南岸に新たな移転地を提案されている旨の発言があった。

7 大谷キャンパスに隣接する土地について

山崎委員から、大谷キャンパスに隣接する土地の所有者から売却の話があり、役員会において検討した結果、当該地は将来的に利活用が期待できることから、購入を前提として価格交渉を行うこととしたことについて、資料13により報告があった。

8 平成25年度一般入試合格状況及び出願者の動向について

議長から、平成25年度一般入試合格状況及び出願者の動向について、資料14により報告があった。

9 平成25年3月卒業・修了予定者の進路状況について

議長から、平成25年度卒業・修了予定者(2月末現在)の進路状況について、資料15により報告があった。

10 平成24年度静岡大学サポーターズクラブ及び静岡大学未来創成基金事業の報告について

山崎委員から、平成24年度静岡大学サポーターズクラブ及び静岡大学未来創成基金事業の報告について、資料16により報告があった。

IV その他

1 平成25年4月以降の新体制について

議長から、平成25年度4月以降の新体制について紹介があった。

2 国立大学法人静岡大学経営協議会規則の一部改正について

議長から、経営協議会構成員のうち、学長、理事以外の学内委員について、本学の大学運営体制に応じ、副学長を含む教職員の中から学長が適正数を指名することを可能とすることに伴う、国立大学法人静岡大学経営協議会規則の一部改正について、資料17により事前説明があり、4月1日に改めてメール審議を行う旨の案内があった。

3 平成25年度4月1日付けで就任する役員の報酬について

議長から、平成25年4月1日付けで再任・就任する役員の報酬について、資料18により内容の説明と、4月1日にメール審議を行う旨の案内があり、意見交換が行われた。

4 平成25年度経営協議会開催予定について

議長から、平成25年度経営協議会開催予定について、資料19により、案内があり、併せて、国立大学法人静岡大学経営協議会規則の一部改正及び平成25年度4月1日付けで就任する役員の報酬について、4月1日にメール審議を行う旨の発言があった。

5 静岡大学関連新聞記事について

議長から、静岡大学に関連する新聞記事について、参考資料により、紹介があった。

以上